

第六十四回 帝國議會 衆議院

船舶安全法案外一件委員會議錄(速記)第四回

付託議案

船舶安全法案(政府提出)  
船舶職員法中改正法律案(政府提出)

(一八七)

昭和八年二月二十四日(金曜日)午後一時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 向井 傑雄君  
理事中井 一夫君 理事村上紋四郎君

伊坂秀五郎君 保良淺之助君

山村豊次郎君 金城 紀光君

佐々木平次郎君 小谷 節夫君

風見 章君

同月二十一日委員内田信也君辭任ニ付其ノ補闕トシテ金井正夫君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

遞信政務次官 牧野 良三君

遞信省管船局長 淺野 平二君

遞信省經理局長 富安 謙次君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

船舶安全法案(政府提出)

船舶職員法中改正法律案(政府提出)

○向井委員長 ソレデハ只今カラ開會致シマス、御諮ヲ致シマスガ、質問ハ既ニ終結ト相成ツテ居リマスケレドモ、中井君カラ質

問ノ御發言ノ通知ガアリマシタガ、之ヲ許

スコトニ御異議ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」「極メテ簡単ニ願ヒマス」

ト呼フ者アリ」

○向井委員長 ソレデハ發言許シマス、中井君

○中井委員 特ニ質問ヲ御許ヲ賜リマシテ

有難ウ存ジマス、極ク簡単ニ唯一點ダケ當

局ニ御尋ヲ致シタイト思ヒマス、我國ノ内

外ノ情勢ニ見マシテ、海運ガ如何ニ重要ナ

役目ヲ勤メテ居ルカト云フコトハ申上ゲル

マデモナイノデアリマス、殊ニ聯盟ノ状態

將ニ決裂ヲ致サントシテ居ル時、最モ其重

要性ヲ認メラレナケレバナラヌト思フノデ

アリマス、是方爲ニハ、政府ハ力ヲ極メテ

海運業ノ發達ヲ期セラレナケレバナラヌト

思フノデアリマスガ、ソレガ爲ニハ、一面

ニハ所謂資本家側ト言ハレテ居ル船主竝ニ

者ト稱セラレル海員ノ上ニモ、極力保護ヲ

加ヘナケレバナラヌモノデアルコトハ申上

ゲルマデアリマセヌ、此御提出ニナリマ

シタ法案ニ於キマシテハ、其第一條ニ明記

サレテ居リマスル通り、船舶ノ堪航性ヲ保

持シ、且ツ人命ノ安全ヲ保持スルニ必要ナ

ル施設ヲ爲スト云フコトヲ、其根本的ノ目

的トサレテ居ルノデアリマスガ、之ニ依ツ

テ、此船舶ノ堪航性ト、又其乗員ノ安全ヲ

保持スルコトガ出來ルナラバ、廳テハ此所

謂資本家側、所謂労働者側、此兩方面ニ對

シテ、非常ナル恩恵ヲ與ヘラレルモノデア

ル、之ニ依ツテ我國ノ海運ノ發達ヲ一層期

スルコトガ出來ルモノト信ズルノデアリマ

ス、併ナガラ其目的トセラレル所ハ洵ニ結

構ナコトデアルガ、此法律ヲ制定セラレル

コトニ依ツテ、若シ勞資ノ協調ヲ破ラレルヤ

ウナ機會ヲ與ヘラレルト云フヤウコトニナ

リマスルナラバ、其結果ハ誠ニ重大ナモノ

ガナケレバナラヌト存ズルノデアリマス、

而シテ此點ニ付キマシテハ、既ニ數度開力

レマシタ所ノ委員會ニ於テ、各委員諸君カ

ニ依リマスト云フト、右ノ申立ト云フモノ

ハ、遞信省令ニ依ツテ、別ニ發セラレル所ノ

命令ノ定ムル所ニ依ツテ、申立ノ要件、其他

ノ手續方法等ヲ規定セラレルト云フコトニ

相成ツテ居リマス、而シテ私共ノ心配致ス

所ノ其濫用ト云フコトハ、其要件其他ヲ定メラレル所ノ遞信省令ノ制定ノ致方ニ依テ、之ヲ防止スルコトガ出來ルト確信ヲ致スモノデゴザイマス、此點ニ付テハ政府ハ特ニ注意ヲセラレル必要ガアルト信ジマス

ノデ、此點ニ關スル所ノ政府ノ御意見ヲ改メテ一ツ承ッテ置キタイト存ジマス

○淺野政府委員 御答申上ゲマス、中井サ

ンノ只今ノ御意見、洵ニ御尤ニ存ズルノデゴザイマス、第十三條ガ濫用サル、ヤウナコトニナリマスレバ、却テ勞資ノ階級鬭争ヲ誘發スルヤウナコトニモ相成リマスルシ、又船内ノ統制ヲ紊ルヤウナ虞モアルノデア

リマシテ、斯ル結果ヲ招キマシテハ、我ガ海運界ノ發展ノ上カラ申シマシテモ、好マシカラザルコトハ御意見ノ通リト存ズルノデアリマス、此十三條ニ關シマスル施行命令ナリ、茲ニ其運用ニ關シマシテハ、中井サンノ御意見ノアル所ヲ十分ニ斟酌致シマシテ、政府トシテハ考慮致スコトニ致シタイト存ズル次第アリマス

○向井委員長 是デ質問ハ全ク終結致シマシタ、直チニ討論ニ入りリマス

○中井委員 本案ハ洵ニ其時機ヲ得タル法案デアリマシテ、既ニ又私共ノ心配致ス點モ、政府當局ヨリ共ニ大ニ考慮スル旨ノ御

明言モ得タ次第デアリマス、必ズ政府當局ハ國家海運ノ大局カラ見テ、萬全ヲ期セラルベキコトデアルト確信ヲ致スノデアリマス、吾々ハ本案ニ賛成ヲ致シタイト存ジマス

ス

○村上委員 本案ニ對シマシテハ原案ニ贊成スル者デアリマス

○風見委員 本案ニ贊成致シマス

○向井委員長 別ニ御異議ガアリマセヌカラ、滿場一致御賛成ト認メマシテ、本案ハ可決致シマシタ

午後一時四十一分散會